

かけ算 | 解答と声かけ

目標：一つ分の数といくつ分を、図・言葉・式で結び付ける。かけ算の意味を学び始めた後に使う練習です。速さを測るテストではありません。

1 いちごの数

答え：ひとつ分は3こ、4さら分。 $3 \times 4 = 12$ 、12こ。

考え方：3+3+3+3と同じまとまりを4回数えます。

つまり：3と4を足す、皿の数だけを答える。

声かけ：「ひとつのお皿を囲むと、いちごは何こ？ 同じお皿はいくつある？」

2 えんぴつの数

答え： $2 \times 5 = 10$ 、10本。図は、2本ずつ入った箱が5つ。

考え方：2本のまとまりを5つ描き、式の2と5に対応させます。

つまり：箱を2つ描き、その中に5本ずつ入れる。

声かけ：「お話の1箱には何本入っている？ 描いた1箱の中と比べてみよう。」

3 数とまとまりを比べる

答え：Aは $4 \times 3 = 12$ 、Bは $3 \times 4 = 12$ 。どちらも12こ。

考え方：全部の数は同じでも、1袋の数と袋の数が違います。

つまり：答えが同じだから、袋の中身や袋の数も同じと考える。

声かけ：「AとBの袋をそれぞれ描くと、どこが違うかな？」

見取り：式の順だけで判断せず、数は何を表すか図や言葉で確かめます。別のまとまり方を説明している場合も、その考えを聞いてください。

親子で話してみる：「家の中で、同じ数ずつ並んでいるものはあるかな？」

